

日本共産党
岩手県委員会

コロナ感染急拡大から県民の命とくらしを守る緊急申し入れ

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049



7月25日、日本共産党岩手県委員会と県議団は、達増知事に対して「知事を先頭に緊張感を持ってコロナ感染防止対策を講じること、県民への強く丁寧なアピールをすること、検査の徹底とワクチン接種の促進策等18項目」について、緊急の申し入れを行いました。

介護が必要な高齢者や障がい者等への宿泊療養施設を開設

これに対し達増知事は、22日に開催した岩手県コロナウイルス感染症対策本部会議において、「若い世代を中心に感染者数が急増しており、現役世代のワクチン接種率の引き上げや4回目接種率の引き上げ、お盆期間中の臨時検査所を開設すること

と、コロナ感染状況に応じた病床の拡大、介護が必要な高齢者や障がい者等に対応した宿泊療養施設の開設、そして基本的な対策の徹底と効果的な感染対策を呼び掛けたい」と答えた。

【申し入れ内容】

- ① 感染拡大の状況、具体的な感染防止対策を県民に届くよう強くアピールを。
- ② 県民・事業者・学校等で危機感を共有し、不織布マスクの正しい着用、手指衛生、換気、3密回避、必要な検査の徹底などの基本的感染対策の徹底を図る。
- ③ 夏祭りなど大規模イベントやお盆を前に、必要な感染対策の徹底を。
- ④ 遅れている12歳から40代のワクチン接種の促進を図る。5歳から10歳未満についてもワクチン接種の有効性・安全性について科学的で具体的な情報提供を強化すること。
- ⑤ 夜間・金曜日の集団接種や対象者への丁寧な対応など、具体的な推進策を講じること。
- ⑥ 高齢者や基礎疾患のある人、医療、高齢者施設従事者等の4回目接種に積極的に取り組むこと。教育保育施設従事者等、対象者の拡大を国に求めること。
- ⑦ 職域接種、大学等での接種、医療、介護従事者への4回目接種に積極的に取り組むこと。
- ⑧ 高齢者、教育・保育、医療施設、学校等での定期的・頻回の検査を早急に実施すること。
- ⑨ 発熱外来への支援を強化し、必要な診療と検査が実施できるようにすること。引き下げられた診療報酬の引き上げを国に求めること。
- ⑩ 高齢者施設、学校、教育保育施設等に抗原検査キットを無料配布し、積極的な活用を。
- ⑪ 不安を感じている県民対象の無料PCR等検査を8月以降も継続実施を。
- ⑫ 保健所体制の強化と緊急の全庁的な応援体制を構築して取り組むこと。
- ⑬ 重症化リスクのある高齢者等については原則入院として基礎疾患の治療も行えるように。

農業者への

「原油価格・物価高騰等」への支援策示される!

- ⑭ 急増している自宅療養者に対して、マイハースの活用を含め健康観察を徹底すること。
- ⑮ 高齢者がいる場合、家庭内感染のリスクがある場合は宿泊療養を基本として取り組むこと。介護が必要な高齢者用の宿泊療養施設を整備すること。
- ⑯ 入院患者等の後遺症の実態を把握するとともに、後遺症への相談・診療体制の強化を図ること。
- ⑰ 大規模イベントについて、十分な対策を講じられない場合は、見直し・中止の検討を求めること。
- ⑱ 学校等における各種大会や部活動、学童クラブについて感染防止対策の徹底を。

奥州市議会は、7月21日市議会全員協議会を開催し、市当局は、コロナ禍における原油価格・物価高騰対策について、追加の具体策を示しました。

今回の提案は、日本共産党市議団が6月1日、倉成市長に申し入れた「飼料・肥料・燃油・農業資材の高騰に対し、安定供給と農家負担への補填を具体化するよう国に対策を求めること。また、市独自の支援策を実施すること。」に応じたものであり、農家のみなさんの悲痛な声が、市政に反映されたものです。

農業用肥料高騰対策支援事業

① 令和4年作付けし、令和5

家畜飼料高騰対策支援事業

- ① 農家(家畜飼養者) 715戸
- ② 配合飼料については、配合飼料価格安定制度による補てんはあるものの、価格が高止まりしており、実負担増には届いていない状況である。飼料への支援により、畜産経営の存続を図り、安定的な生産を図る。

(7月21日)
埼玉選挙区で大奮闘した梅村さえこさん、萩原県委員長と県後援会事務所など団体を訪問。選挙結果をお伝えしながら懇談しました。憲法とくらしを守るたたかい、地方選挙をはじめ次のたたかいは始まっていると、これから力を合わせましょうという懇談になりました。



日本共産党
参議院議員
いわぶち友